

派遣型救急ワークステーション（松山市）

【取組概要】

救急救命士に課せられている再教育に合わせて他の救急隊員にも、より高度な知識や技術を習得させるため、救急救命士はもとより全ての救急隊員を病院へ派遣するもの。また、研修中に重症事案が発生した場合は、医師同乗で現場へ出場することができ、救命率の向上にも繋がる。

人口 514,781人

担当部署 消防局警防課

取組み事例のURL

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/sbbosai/sbkyukyu/wa-kusute-syon.html>

【取組みの効果】

- ・救命救急士の再教育の達成が勤務中に可能。
- ・救急隊員のスキルアップ
- ・当務隊※1で病院実習を行うため、人員確保が容易。
- ・救急事案が発生した場合、医師同乗で出場可能。
- ・オフラインメディカルコントロール※2も受けられる



【医師の指示下での救命処置訓練】

【他団体へのアドバイス】

- ・現有体制を維持しながら、研修を受けられることに意義あり。
- ・派遣、サポート隊の活動区域が変わるため、管轄外の地理などの習熟が必要。

【創意・工夫した点】

現有の救急業務の体制を維持しながらも、効果的な研修を受けるため、派遣救急隊、サポート隊などの派遣シフトのサイクルを作成し、勤務中に救急救命士の再教育や病院実習を可能化。



【救急救命士・救急隊員の实習】

※1 24時間交代制の救急隊のこと。

※2 医師による救急救命士に対する教育、救急活動に対する症例検討及び事後検証のこと。